

海を照らす灯台のなかまたち（6）

～佐田岬港第一防波堤灯台～

（さだみさきこうだいいちぼうはていとうだい）

今回からしばらく、佐田岬半島の宇和海側の灯台を見て行きたいと思っています。



三机港防波堤でも紹介したように、防波堤灯台が続きます。

国道 197 号線を三崎港で別れ、佐田岬に向かう県道 256 号線を行くと白い防波堤灯台が見えてきます。

海岸に降りると港は広く車を止める場所には困らない。

長い防波堤の突端に白い灯台は建っています。

伊方町正野にある佐田岬港第一防波堤灯台です。

防波堤の途中には柵があります。

灯台のある防波堤上から臨む半島頂上部に立ち並ぶ風力発電の風車は、勢いよく回転していました。

佐田岬周辺図 1



佐田岬港第一防波堤灯台付近



今、港では、県内一の市場単価を誇る「ひじき」の漁がはじまり、漁場に活気が満ちています。

灯台のある佐田岬港には、採れたての「ひじき」をアスファルトの上に天日干しする作業で大忙しとなっていますが、不漁に加えてコロナウィルスの影響で価格が心配されてるようです。

三崎地域では、フノリ・サザエ・アワビ漁も解禁されています。大自然の中でゆっくりと流れる時間、そんな贅沢な時を過ごせる四国最西端の宿「民宿・大岩」も近くにあり、民宿ならではの温もりで新鮮な海の幸をと案内されています。

佐田岬周辺図 2



佐田岬漁港周辺



○佐田岬港第一防波堤灯台要項

所在地 愛媛県西宇和郡伊方町佐田岬漁港

塗色・構造 白色、塔形

灯 質 連成不動単閃緑光 毎6秒に1閃光

光達距離 閃光5海里（約9km）、不動光2海里（約4km）

高 さ 地上から構造物の頂部まで 9.3m

平均水面上から灯火まで 15.0m

地上から灯火まで 9.2m

点灯年月日 昭和38年11月27日

★「大八車」No.220（令和2年5月10日発行）掲載分

○佐田岬港第一防波堤灯台画像ほか



灯台外観



灯器



灯室